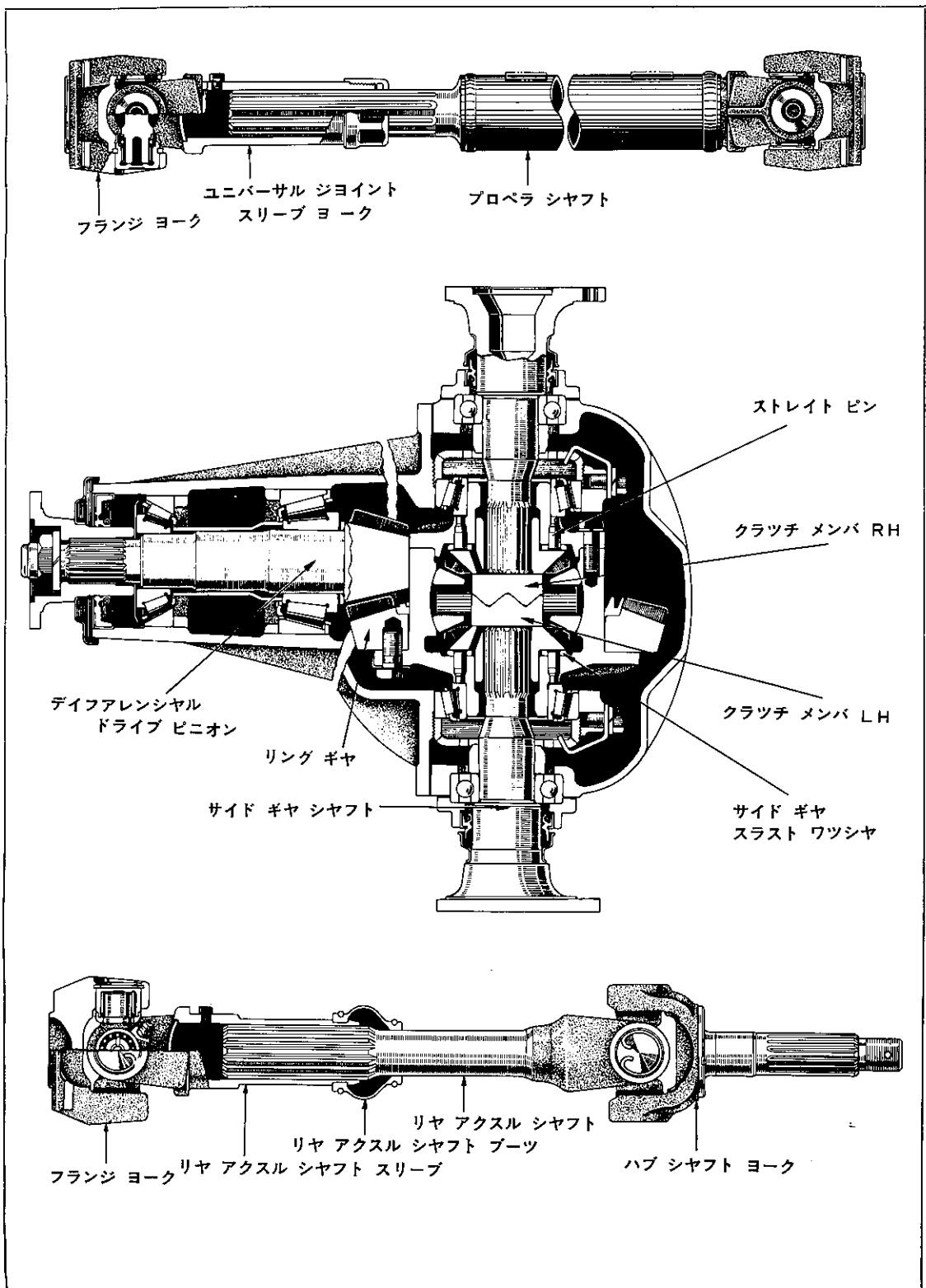


プロペラ シャフト, デイファレンシャル, リヤ アクスル

10

概 説.....	10-2
トラブル シューテイング	10-3
プロペラ シャフト	10-4
デイファレンシャル.....	10-6
リヤ アクスル	10-13

概 説



第10-1図 プロペラ シャフト, デフアレンシャル キヤリヤ, リヤ アクスル

Y5218 Y5219 Y5220

仕 様

第10-1表 プロペラ シャフト、デифアレンシヤル、リヤ アクスル仕様

推 進 軸	長 さ × 外 径 × 内 径 自 在 接 手 形 式	528mm × 42.7mm × 35.7mm 十 字
減 速 機	歯 車 形 式 減 速 比	ハ イ ボ イ ド 4.375 (4.111, 4.625)
差 動 機	外 箱 形 式 歯 車 形 式 お よ び 数	フ レーム つ り 下 げ 一 体 式 か さ 歯 車 2
後 車 軸	形 式	全 浮 動 2 ジョイント付き

注 () 内はオプション

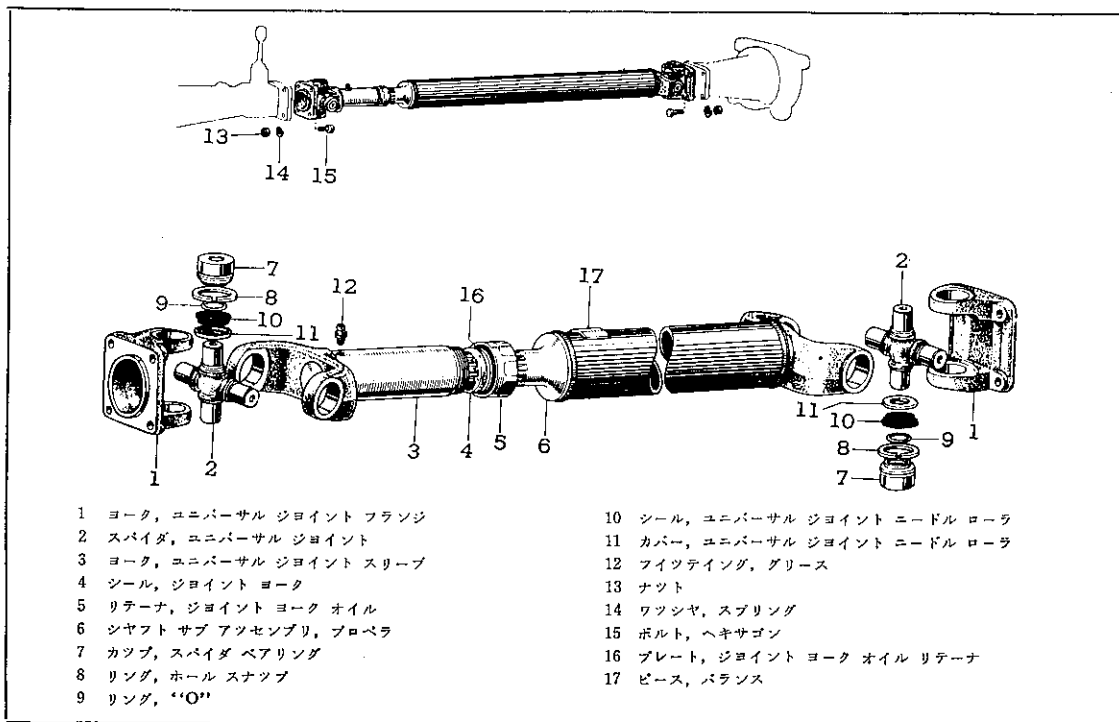
トラブル シューテイング

現 象 お よ び 推 定 原 因	処 置
プロペラ シャフト、リヤ アクスル シャフトの振動 1 ユニバーサル ジョイント スパイダ ベアリング破損および摩耗大 2 シャフトの曲がり 3 シャフトのアンバランス 4 シャフト取り付けのゆるみ 5 ベアリング (ラジアル ボール) の摩耗	ベアリング交換 シャフト交換 バランス修正またはシャフト交換 締め付け ベアリング交換
プロペラ シャフト、リヤ アクスル シャフト 発進時の打音または情行時の騒音 1 ユニバーサル ジョイント摩耗、損傷 2 スプライン部摩耗 3 シャフト取り付けのゆるみ 4 ジョイント フランジ ヨーク取り付けのゆるみ	交 換 スリーブ ヨーク交換 締め付け 締め付け
デифアレンシヤルの破損 (ケース、ギヤ、ベアリング等) 1 オイルの不足または不適當 2 過酷な車両の使用 3 ベアリング (サイドおよびドライブ ピニオン用) 調整不良 4 ドライブ ピニオンとリング ギヤの調整不良 5 スラスト ワツシャの選択不良 6 サイド ギヤ スラスト ワツシャおよびピニオン スラスト ワツシャ摩耗によるバツクラツシユの過大 7 ボルト (リング ギヤおよびデифアレンシヤル ケース カバー セット用) のゆるみ	デифアレンシヤルを分解して、各部異常の有無を充分点検し、不良部品を交換する。 ベアリング類の プレロード、ギヤ類の バツクラツシユ、クラツチ メンバ サイド ギヤのすき間 (0.03~0.11mm) 歯当たり等を正規に調整して組み付け、キヤツスル ハイボイド ギヤ オイル スペシャル (SAE 90) を規定量給油する。 (1.2ℓ)
リヤ ホイールの騒音 1 アクスル シャフトとの組み付けのゆるみ 2 ベアリングの摩耗、損傷 3 タイヤ不良 4 ホイール セット ピンのゆるみ	ハブ ナツトの締め付け ベアリング交換 タイヤ交換 キヤツプ ナツト交換締め付け

現象および推定原因	処置
デифアレンシャルの騒音	
1 油量不足	ハイポイド ギヤ オイル スペシャルを補充
2 リング ギヤとドライブ ピニオンの調整不良	歯当たり点検, 調整
3 リング ギヤおよびドライブ ピニオンの歯の摩耗	リング ギヤ アンド ドライブ ピニオン キット交換
4 ベアリング (ドライブ ピニオン用) のゆるみ	ベアリング (ドライブ ピニオン用) のプレロード調整, およびリング ギヤとドライブ ピニオンのバツクラツシュ調整 歯当たり点検
5 ベアリング (デифアレンシャル サイド用) のゆるみ	ベアリング (サイド用) のプレロード調整およびリング ギヤとドライブ ピニオンのバツクラツシュ調整 歯当たり点検
6 サイド ギヤ スラスト ワツシヤまたはクラツチ メンバの摩耗	スラスト ワツシヤまたはクラツチ メンバ交換
7 リング ギヤまたはデифアレンシャル ケースのひずみ	リング ギヤ アンド ドライブ ピニオン キットまたはデифアレンシャル ケース交換
8 デифアレンシャル ケース カバーのゆるみ	取り付けボルト締め付け (接着剤使用)
9 クラツチ メンバの損傷	クラツチ メンバ交換
10 サイド ギヤ スラスト ワツシヤの調整不良	スラスト ワツシヤ調整

プロペラ シャフト

構成部品



第10-2図 プロペラ シャフト構成部品

Y5221

取りはずし

- 1 右側シートを取りはずし、トンネル ダスト シールを取りはずす。
- 2 ユニバーサル ジョイント フランジ ヨーク (フロントおよびリヤ側) を取りはずす。
- 3 プロペラ シャフトをディフアレンシヤル キヤリヤ左側より取り出す。

分 解

リヤ アクスルの項 (P10-14) を参照する。

点 検

分解した部品は洗浄点検し、下記の不具合があれば交換する。

- 1 シャフト スプライン部、スパイダ ジャーナル面、ニードル ローラ; 損傷, 摩耗, さび。
- 2 シャフト; 曲がり, 損傷, アンバランス, ベアリング カップかん合部の損傷。
- 3 ジョイント ヨーク オイル リテーナ プレート; 摩耗, 損傷。

組み付け

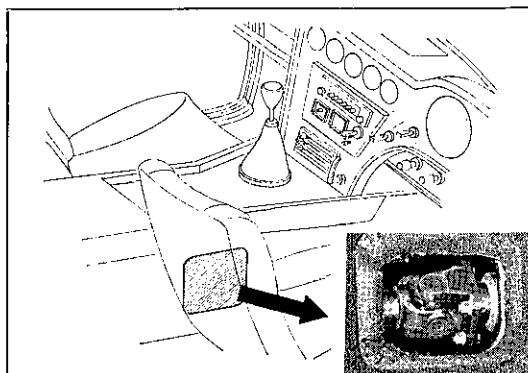
- 1 スパイダ ベアリング カップを選択して組み付ける。

注

- 1 スリーブ ヨークにテーキン マークのある物はベアリング カップに赤色ペイントの付いた物を組み付ける
 - 2 マークの位置が中央の物は手前側, 左側の物は反対側を表わす。
 - 3 ベアリングにはキャツスル MP グリースを充てんする。
- 2 スパイダ軸方向の遊びが 0.05mm 以下になるようにスナツプ リングを選択して組み付ける。

注 両側のスナツプ リングの厚さを同じにする。

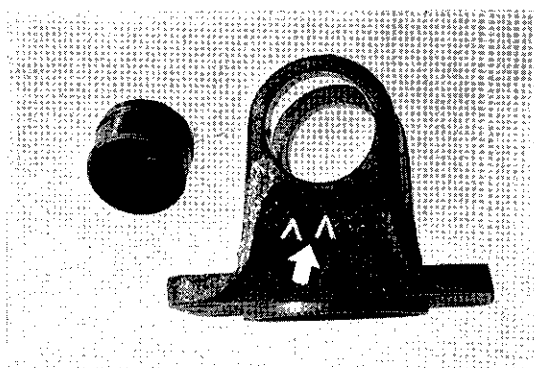
- 3 スリーブ ヨークにリテーナ プレート, ヨーク シール, オイル リテーナを組み付ける。



第10-3図 ダスト シール取りはずし G0352 V1887

第10-2表 ベアリング カップ

品 番	寸 法	備 考
スパイダ ベアリング カップ外径寸法 (mm)		
37431-20010	26.015~26.028	識別マークなし
37431-20020	26.036~26.049	赤ペイント
スリーブ ヨーク内径寸法 (mm)		
37311-20010	26.000~26.021	識別マークなし
	26.021~26.042	テーキン マーク



第10-4図 打刻マーク

V2494

第10-3表 ホール スナツプ リング

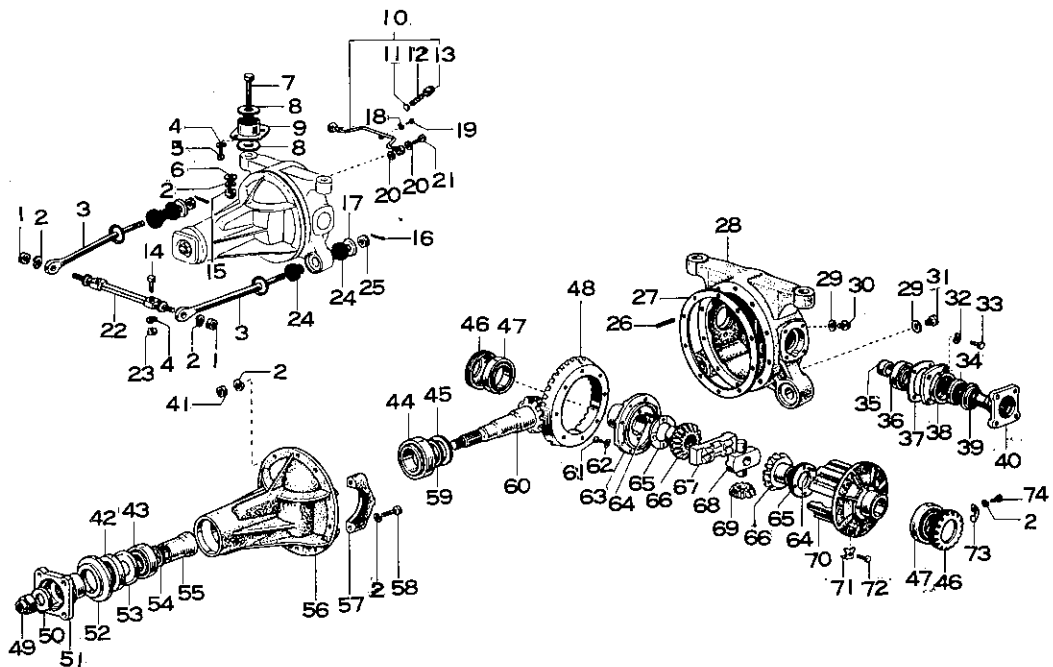
品 番	種 類	厚 さ (mm)
90521-29070	No.1	2.375~2.425
90521-29071	No.2	2.425~2.475
90521-29072	No.3	2.475~2.525
90521-29073	No.4	2.525~2.575

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

デイファレンシャル

構成部品



- 1 ナット
- 2 ワッシャ、スプリング
- 3 ロッド、サブ アッセンブリ
- 4 ワッシャ、スプリング
- 5 ボルト
- 6 ワッシャ、プレート
- 7 ボルト、ヘキサゴン
- 8 ワッシャ、プレート
- 9 マウンティング、デイファレンシャル キヤリヤ
- 10 ブリーザ、サブ アッセンブリ
- 11 プラグ、ブリーザ、No.3
- 12 スプリング、バレル シェイプド
- 13 プラグ、ブリーザ、No.2
- 14 ボルト、ヘキサゴン
- 15 ナット、ロック
- 16 ビン、コッタ
- 17 ワッシャ
- 18 ワッシャ、スプリング
- 19 ボルト
- 20 ガasket
- 21 ボルト、ユニオン
- 22 シャフト、トルク ロッド ピボット
- 23 ナット
- 24 クッション
- 25 ナット、キヤツスル
- 26 ボルト、スタッド
- 27 ガasket、デイファレンシャル キヤリヤ
- 28 ケース、デイファレンシャル キヤリヤ
- 29 ガasket
- 30 プラグ、ウイズ ヘッド ストレイト スクリュー
- 31 プラグ サブ アッセンブリ、ドレーン
- 32 ワッシャ、ウエーブ
- 33 ボルト
- 34 シール、タイプ "TB" オイル
- 35 リテーナ、リヤ アクスル ベアリング
- 36 ベアリング
- 37 ガasket、ベアリング リテーナ
- 38 リテーナ、サイド ギヤ シャフト ベアリング

- 39 カバー、ダスト
- 40 シャフト、デイファレンシャル サイド ギヤ
- 41 ナット
- 42 シール、タイプ "T" オイル
- 43 ベアリング
- 44 ベアリング
- 45 ワッシャ
- 46 ナット、デイファレンシャル ベアリング アジャスティング
- 47 ベアリング、チーバ ローラ
- 48 ギヤ、デイファレンシャル リング
- 49 ナット
- 50 ワッシャ、プレート
- 51 フランジ、ユニバーサル ジョイント
- 52 デフレクタ、ダスト
- 53 スプリング、ドライブ ビニオン オイル
- 54 シム
- 55 スペーサ、デイファレンシャル、ドライブ ビニオン
- 56 キヤリヤ、デイファレンシャル
- 57 キヤツプ、デイファレンシャル ベアリング
- 58 ボルト、ヘキサゴン
- 59 シム
- 60 ビニオン、デイファレンシャル ドライブ
- 61 ボルト、ヘキサゴン
- 62 ワッシャ、スプリング
- 63 カバー、デイファレンシャル ケース
- 64 ビン、ストレイト
- 65 ワッシャ、デイファレンシャル サイド ギヤ
- 66 ギヤ、デイファレンシャル サイド
- 67 メンバ、クラッチ、RH
- 68 メンバ、クラッチ、LH
- 69 ビニオン、デイファレンシャル
- 70 ケース、デイファレンシャル
- 71 プレート、リング ギヤ セット ボルト
- 72 ボルト
- 73 ロック、デイファレンシャル ベアリング
- 74 ボルト

アジャスティング ナット

第10-5図 デイファレンシャル キヤリヤ構成部品

Y5222

取りはずし

- 1 サイド ギヤ シャフト フランジ (1) を切り離す。

注 リヤ アクスル シャフトはハブ シャフト ヨークよりはずさないでおく。

- 2 ジョイント フランジ (2), マウンティング ロッド (3), トルク ロッド ピボット シャフト (4) を取りはずす。

- 3 サービス ホールよりプラグを取りはずし, ピンホール ヘキサゴン ボルト (5) を取りはずす。

- 4 デイファレンシャル キャリヤを左側ローアーム下部より取りはずす。

分解

- 1 デイファレンシャル キャリヤ ケースよりデイファレンシャル サイド ギヤ シャフト アッセンブリを取りはずす。

- 2 デイファレンシャル サイド ギヤ シャフトよりリヤ アクスル ベアリング リテーナをグラインダで1~2個所研削し, 衝撃をあたえて取りはずし, ベアリングおよびサイドギヤ シャフト ベアリング リテーナを取りはずす。

- 3 サイド ギヤ シャフト ベアリング リテーナよりダスト カバーを取りはずし, タイプ“T B” オイル シールを取りはずす。

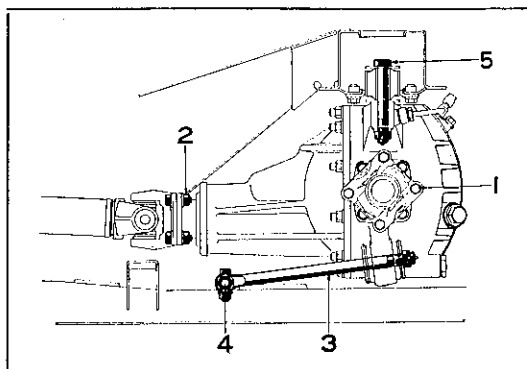
- 4 ブリーザ サブ アッセンブリを取りはずす。

- 5 デイファレンシャル キャリヤをケースから取りはずす。

- 6 デイファレンシャル ケース アッセンブリを取りはずす。

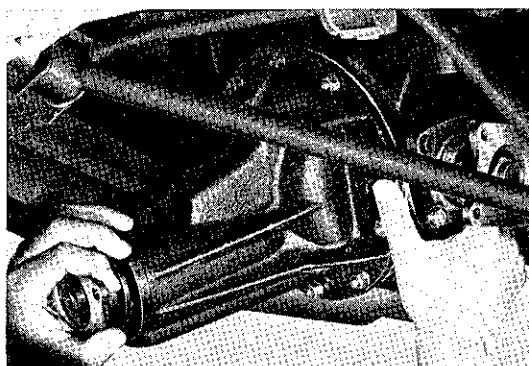
注

- 1 ベアリング キャップおよびキャリヤに合わせマークを打つ
- 2 ベアリング キャップおよびキャップを左右混同しないようにする。



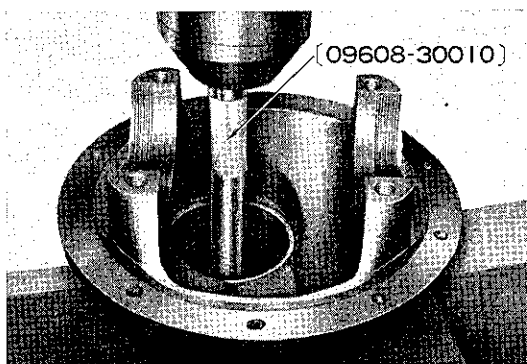
第10-6図 デイファレンシャル
キャリヤ取りはずし

Y5223



第10-7図 デイファレンシャル
キャリヤ取りはずし

V1888



第10-8図 ベアリング カップ取りはずし

V2495

- 7 ユニバーサル ジョイント フランジを取りはずし, ドライブ ピニオンを取りはずす。

注 調整用スペーサおよびシムに注意する。

- 8 タイプ“T” オイル シール, オイル スリンガおよび ベアリング コーンを取りはずす。

- 9 ベアリング カップ (ドライブ ピニオン用) を, フロント ハブ アンド ドライブ ピニオン ベアリング ツール セット (09608-30010) を使用して取りはずす。

- 10 ベアリング（ドライブ ピニオン リヤ用）をユニバーサル プラー〔09950-20010〕を使用して取りはずす。

- 11 リング ギヤを取りはずす。

注 ケースとリング ギヤに合わせマークを打ち、組み付け位置を混同しないようにする。

- 12 ケース カバー(1)を取りはずし、サイド ギヤ(2)、サイド ギヤ スラスト ワツシャ(3)、ストレイト ピン(4)、クラッチ メンバ RH(5)、デフアレンシヤル ピニオン(6)、クラッチ メンバ LH(7)を取りはずす。

点 検

分解した部品は洗浄、点検し下記の不具合がある場合は交換する。

- 1 各ベアリング カップ、ローラ；損傷、摩耗、焼き付き。
- 2 ドライブ ピニオンおよびリング ギヤの歯面；損傷、過度の摩耗、焼き付き。
- 3 デフアレンシヤル ケースおよびケース カバー；き裂。
- 4 クラッチ メンバ、サイド ギヤかん入部、サイド ベアリングかん合部；摩耗。
- 5 ピニオン、クラッチ メンバ LH、クラッチ メンバ RH、ストレイト ピン、サイド ギヤ スラスト ワツシャ、サイド ギヤ；損傷、摩耗、焼き付き。
- 6 リング ギヤの振れ；リング ギヤ組み付け後、測定する。

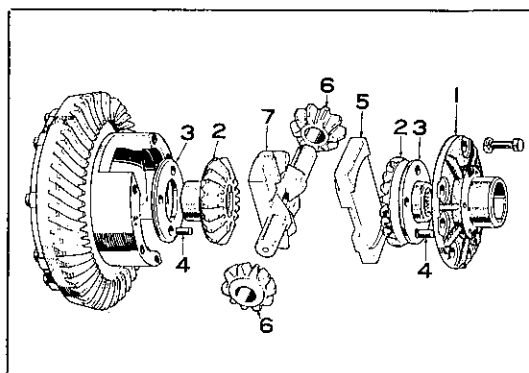
振れ限度 0.10mm

組み付け

デフアレンシヤル ケース

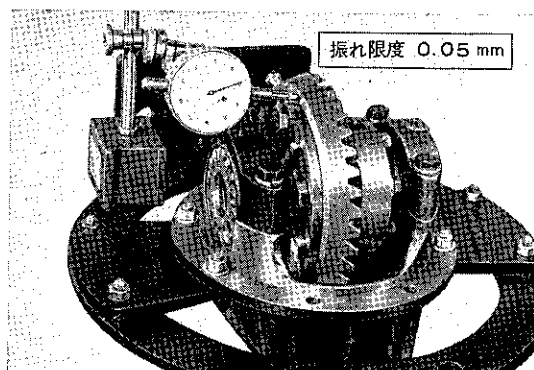
- 1 デフアレンシヤル ケースとサイド ギヤ、クラッチ メンバのすき間をスラスト ワツシャの選択によつて調整する。

すき間基準値 0.03~0.11mm



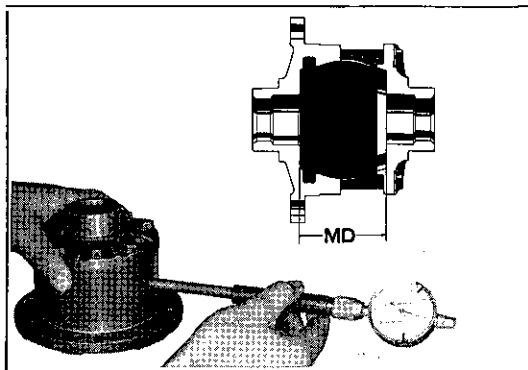
第10-9図 デフアレンシヤル分解

Y5224



第10-10図 リング ギヤの振れ点検

V2496



第10-11図 マウンテイング
ディスタンス測定

G0353 V1889

- (1) デフアレンシヤル ケースにケース カバーを取り付ける。

締め付けトルク 4.0~5.0m·kg

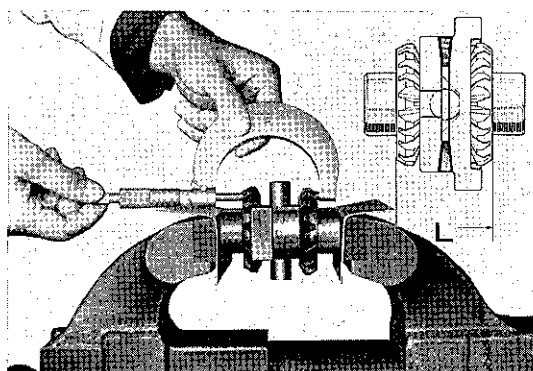
- (2) デフアレンシヤル ケースのマウンテイング ディスタンス (MD) を測定する。

- (3) サイドギヤ, クラッチメンバ RH, LH
の組み合わせ寸法 (L) を測定する。

基準値 56mm

- (4) (2)の項および(3)の項で測定した寸法差によ
つて, スラストワッシャを選択する。

MD-L=すき間



第10-12図 クラッチメンバ測定

G0354 V1890

第10-4表 スラストワッシャ組み合わせ種類

品番	厚さ(mm)	種類	組み合わせ	合わせ記号	使用範囲 (MD-L) (mm)
41361-62010	3.00	No.1	1+1	A	6.04~6.09
			1+2	B	6.09~6.13
41362-62010	3.04	No.2	2+2	C	6.13~6.17
			2+3	D	6.17~6.21
41363-62010	3.08	No.3	3+3	E	6.21~6.25
			3+4	F	6.25~6.29
41364-62010	3.12	No.4	4+4	G	6.29~6.32

第10-5表 スラストワッシャ使用範囲

		デフアレンシャル ケース マウンティング デイスタンス (MD) 測定値 (mm)										
		6204	6205	6206	6207	6208	6209	6210	6211	6212	6213	6214
サイド ギヤ クラッチ メンバ R H L H 組み 合わせ 寸法 (L) 測定値 (mm)	56.00 ~ 55.98	A (1+1)										
	55.97 ~ 55.96											
	55.95 ~ 55.94	B (1+2)										
	55.93 ~ 55.92	C (2+2)										
	55.91 ~ 55.90	D (2+3)										
	55.89 ~ 55.88											
	55.87 ~ 55.86	E (3+3)										
	55.85 ~ 55.84	F (3+4)										
	55.83 ~ 55.82											
	55.81 ~ 55.80	G (4+4)										

G0360

2 デイファレンシヤル ケース カバー ボルト 接着。

- (1) デイファレンシヤル ケース, ケース カバーおよびボルトをトリクレン洗浄する。

注 洗浄剤はトリクレンと同程度の脱脂力ならば他のものでもよい。

- (2) デイファレンシヤル ケース, ケース カバーおよびボルトの接着部に, は毛などによつてプライマ処理を行なう。

注 プライマ処理剤はロック クイック プライマを使用すること。

- (3) ケースおよびケース カバーにストレイト ピンを組み付け, 選択したスラスト ワツシャ, クラツチ メンバRH, LH, ピニオン, サイド ギヤを組み付ける。

注 スラスト ワツシャ組み合わせ(B)(D)(H)を使用するときは薄い方をリング ギヤ側にする。

- (4) デイファレンシヤル ケースのネジ部および取り付けボルトにロック タイムのリテーニング コンパウンドを塗布してケース カバーを組み付ける。

締め付けトルク 4.0~5.0m・kg

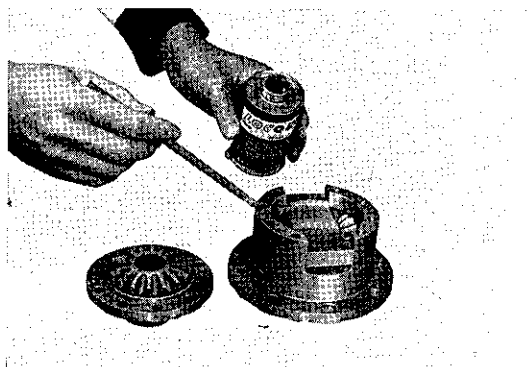
- (5) デイファレンシヤル ケース カバーを組み付けた状態で3時間以上放置する。
冬期は30~50°Cに加温して行なう。

3 ロック プレートを介してリング ギヤを組み付ける。

締め付けトルク 7~8m・kg

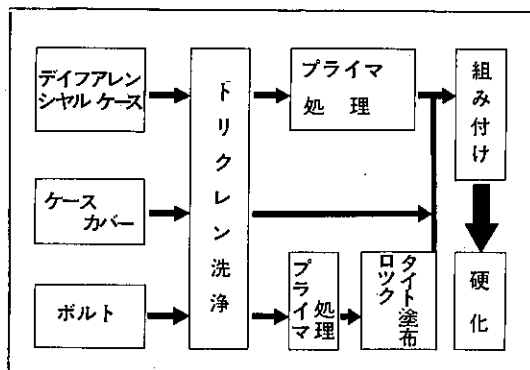
注 ロック プレートのねじれ防止のため第10-16図のようなホルダを使用すると作業が確実にできる。

- 4 分解時ベアリング (デイファレンシヤル ケース用)を取りはずした場合には, サイド ベアリング コーン リプレーサ〔09505-30010〕を使用してケース両側にベアリングを圧入する。



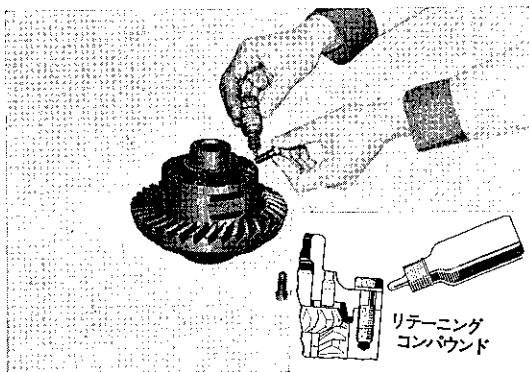
第10-13図 プライマ処理

V1541



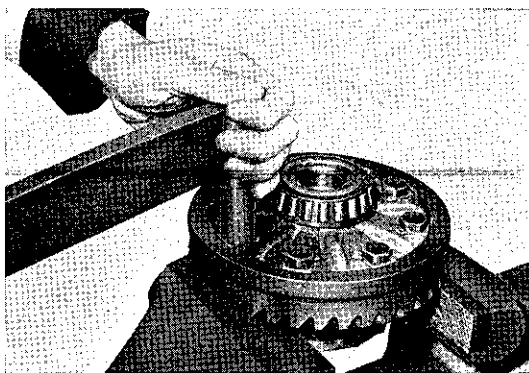
第10-14図 デイファレンシヤル組み付け

G0355



第10-15図 リテーニング
コンパウンド塗布

V1542 G0356



第10-16図 リング ギヤ組み付け

V1543

- 5 デイファレンシャル キヤリヤにベアリング カップをフロント ハブ アンド ドライブ ピニオン ツール セット〔09608-30010〕を使用して圧入する。
- 6 ベアリング（ドライブ ピニオン用）のプレロードを、スパーサ(4)、シム(5)の選択によって調整する。(第10-17図)

プレロード基準値

19~26cm-kg ベアリング（新 品）

4~10cm-kg ベアリング（再使用）

- (1) デイファレンシャル ドライブ ピニオン アジャスト ゲージ〔09530-30010〕を使用して調整する場合は次の方法で行なう。
- (2) 第10-17図のナット(7)を規定トルクで締め付け、プレロード フランジ(6)で測定し作動中のプレロードが規定数値内になるようにスパーサ(4)シム(5)を調整する。

プレロード基準値

3.8~5.2kg ベアリング（新 品）

0.8~2.0kg ベアリング（再使用）

ナット(7)

締め付けトルク 17~19m-kg

第10-6表 シム（ベアリング調整用）

品 番	厚 さ
90564-30032	0.3mm

第10-7表 スパーサ種類

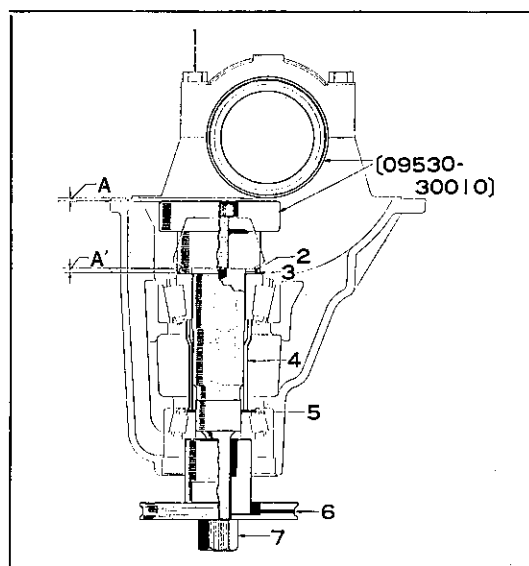
品 番	種 類	長 さ(mm)
41231-30010	No. 1	61.000~61.025
41232-30010	No. 2	61.045~61.070
41233-30010	No. 3	61.090~61.115
41234-30010	No. 4	61.135~61.160
41235-30010	No. 5	61.180~61.205
41236-30010	No. 6	61.225~61.250

- 7 ドライブ ピニオン、アジャスト シムおよびプレート調整。(第10-17図)

- (1) ベアリング キヤツプ セット ボルト(1)を規定トルクで締め付ける。

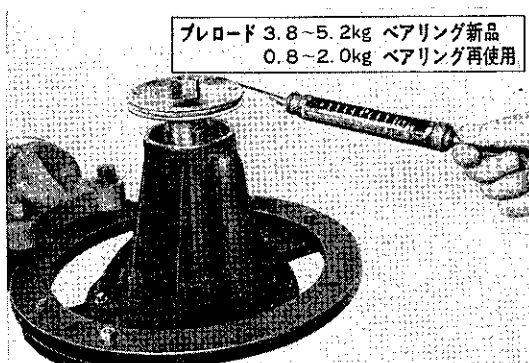
締め付けトルク 7.0~9.0m-kg

- (2) プレート ワツシャ(2)、シム(3)、を合わせて、すき間(A)にちょうどそう入できるように、ワツシャ(2)を選択する。



第10-17図 シム、スパーサ選択

Y5225



第10-18図 プレロード測定

V2497

第10-8表 シム（ドライブ ピニオン調整用）

品 番	厚 さ
90564-38072	0.271 mm

第10-9表 プレート ワツシャ（ピニオン アジャスト用）種類

品 番	種 類	厚 さ (mm)
90209-35022	No. 1	2.99~3.01
90209-35023	No. 2	3.02~3.04
90209-35024	No. 3	3.05~3.07
90209-35025	No. 4	3.08~3.10
90209-35026	No. 5	3.11~3.13
90209-35027	No. 6	3.14~3.16
90609-35028	No. 7	3.17~3.19
90209-35029	No. 8	3.20~3.22
90209-35030	No. 9	3.23~3.25
90209-35058	No. 10	3.26~3.28

- 8 ゲージ〔09530-30010〕を取りはずし、ドライブ ピニオンに7項で選定したスパーサおよびシムをはめ、ベアリング（リヤ用）を組み付ける。

注 プレート ワツシヤは面取りしてある方をギヤ側にむける。

- 9 ドライブ ピニオンに6項で選定したスパーサとシムをはめてキャリヤに組み付ける。

締め付けトルク 17~19m·kg

- 10 デイファレンシヤル ケースをキャリヤに組み付ける。

- 11 デイファレンシヤル サイド ベアリング プレロード調整。

- (1) ケースの軸方向の遊びが無くなった位置より1.5~2.0ノッチ ナットをねじ込んで適当なバックラツシュを確認し、キャップを規定トルクで締め付ける。

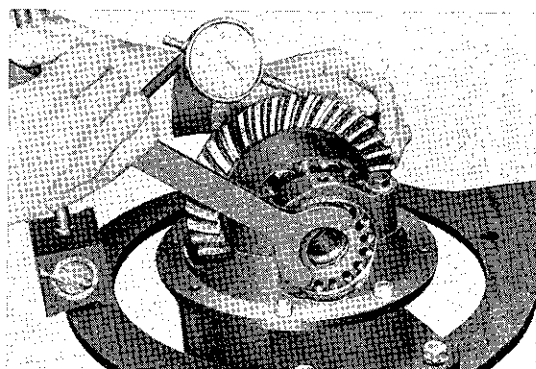
締め付けトルク 7.0~9.0m·kg

- (2) ドライブ ピニオンと総合されたプレロードをナットで調整する。

プレロード

23~32cm·kg ベアリング（新品）

5~12cm·kg ベアリング（再使用）



第10-19図 バックラツシュ調整

V1891

- (2) ゲージ〔09530-30010〕のトルク フランジで測定する場合は次の測定値にする。

プレロード 4.6~6.4kg（ベアリング新品）

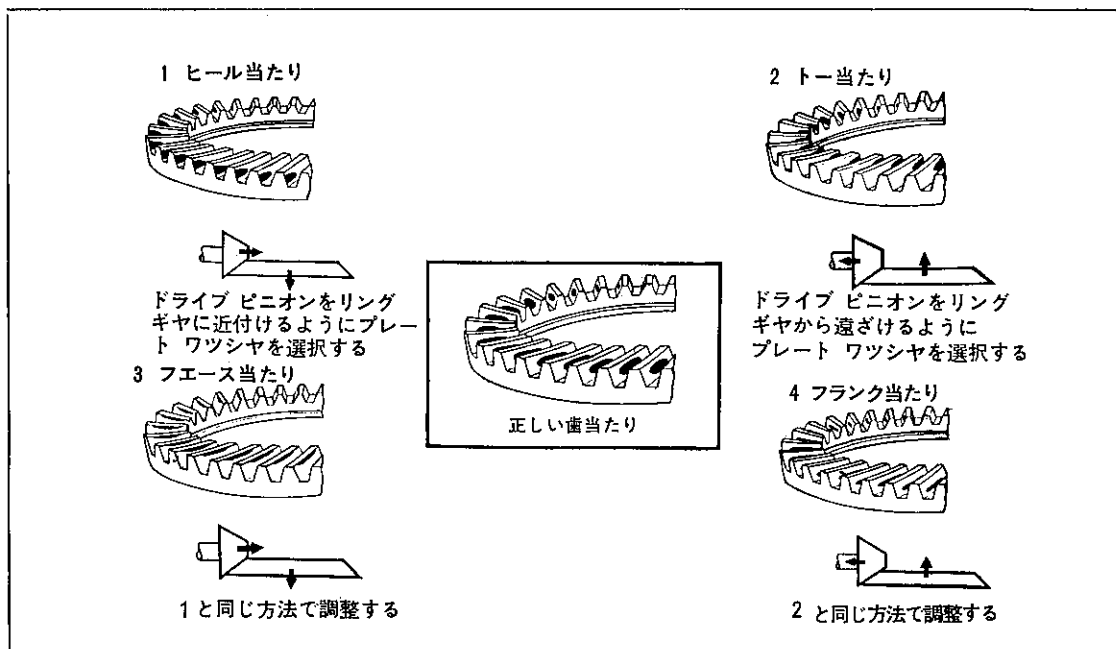
1.0~2.4kg（ベアリング再使用）

（第10-18図）

- 12 ドライブ ピニオンとリング ギヤのバックラツシュを調整する。（第10-19図）

バックラツシュ 0.13~0.18mm

- 13 リング ギヤとドライブ ピニオンの歯当たりを点検し、正しい歯当たりをしていない場合は次の調整を行なう。（第10-20図）



第10-20図 リング ギヤ歯当りの状態

G0357

- 14 アジャスティング ナット ロックを取り付ける。
- 15 オイル スリングを入れ、タイプ“T” オイル シール を打ち込み、 ジョイント フランジを 組み付ける。

締め付けトルク 17~19m·kg

注 ナットはセルフ ロック タイプであるので必ず 新品と取り替える。

- 16 デイファレンシヤル キヤリヤをキヤリヤ ケー スに組み付ける。

締め付けトルク 2.0~3.5m·kg

- 17 タイプ“TB” オイル シール (サイド ギヤ シャフト用)をサイド ギヤ シャフト オイル シール リプレーサ〔09517-62010〕を使用 してサイド ギヤ シャフト ベアリング リ テーナにプレスにて圧入し、 ダスト ガバー を組み付ける。

- 18 デイファレンシヤル サイド ギヤ シャフト にサイド ギヤ シャフト ベアリング リテー ナを組み込み、ベアリング、リヤ アクスル ベアリング リテーナをプレスにて圧入する。

注 リヤ アクスル ベアリング リテーナは 150°C に加熱して組み付ける。

- 19 サイド ギヤ シャフト アツセンブリをベア

リング リテーナ ガasketをかいしてキヤ リヤ ケースに組み付ける。

- 20 ブリーザ サブ アツセンブリを組み付ける。
- 21 オイル注入。

種類 キヤツスル ハイポイド ギヤ オイル スペシ ャル SAE 90

油量 1.2ℓ

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

締め付けトルク

マウンテイング ロツド 7~9m·kg

ピボット シャフト 2~3m·kg

キヤリヤ マウンテイング 8~12m·kg

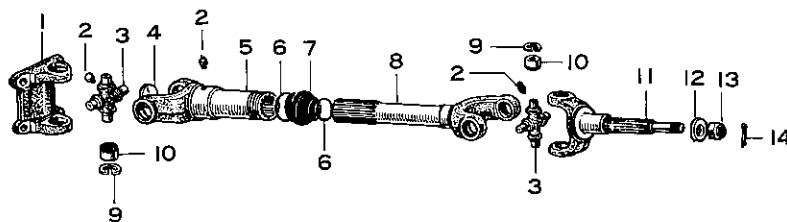
デイファレンシヤル キヤリヤ マウンテイング

取りはずし、取り付け

- 1 デイファレンシヤル キヤリヤ 取りはずしの 項 (P10-7) を参照
- 2 キヤリヤ マウンテイングを取りはずす。

締め付けトルク 1.5~2.2m·kg

構成部品



1 ヨーク、ユニバーサル ジョイント フランジ

2 ボルト

3 スパイダ、ユニバーサル ジョイント

4 プラグ、エキスパンション

5 スリーブ、リヤ アクスル シャフト

6 リング“O”

7 ブーツ、リヤ アクスル シャフト

8 シャフト、リヤ アクスル

9 リング、ホール スナツプ

10 カツプ、スパイダ ベアリング

11 ヨーク、ハブ シャフト

12 ワツシャ、プレート

13 ナット、キヤツスル

14 ピン、コツタ

第10-21図 リヤ アクスル構成部品

Y5226

取りはずし

- 1 ハブ シャフト ヨーク ナットを取りはずす。
- 2 サイド ギヤ シャフト ヨークを切り離し、
アクスル シャフトを取りはずす。

注 オイル シールおよびアクスル ハブに注意する。

分 解

- 1 ハブ シャフト ヨークとアクスル シャフト
に合わせマークを打つ。
- 2 ホール スナツプ リングを取りはずし、スパ
イダ ベアリング カツプを取りはずす。
- 3 ユニバーサル ジョイント スパイダを取りは
ずす。

点 検

分解した部品は洗浄点検し、不具合があれば交換する。

組み付け

分解作業の逆に行なう。

注

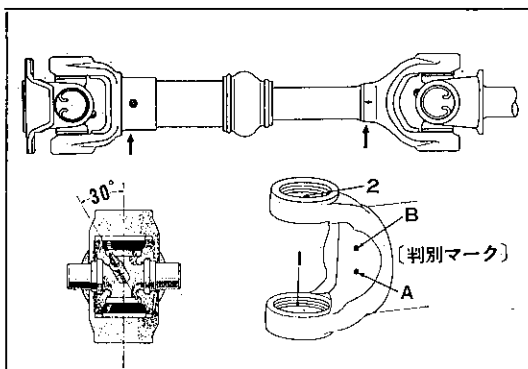
- 1 スパイダの軸方向の遊びが0.05mm以下になるようにスナツプ リングを選択する。(第10-12表)
- 2 スパイダ ベアリング カツプを判別マークによつて組み付ける。(第10-10表, 第10-11表, 第10-22図)
- 3 スパイダのグリース フィツティング側が相対して内側になり、向きはヨーク フランジ、ハブ シャフト ヨークのスパイダ軸に対して30°の位置に組み付ける。
- 4 シャフト スリーブのグリース フィツティングにヨークの矢印を合わせて組み付ける。
- 5 スパイダ、ベアリング カツプ、シャフト スプライン部にはキャツスル MP グリースを塗る。

第10-10表 スパイダ ベアリング カツプ寸法

品 番	寸 法 (mm)	判別マーク
37402-60020	28.515~28.528	マーク無し
37402-60030	28.536~28.549	赤色マーク

第10-11表 ベアリング カツプ組み合わせ

種 類	○マークの有無		使用ベアリング	
	A 部	B 部	① 穴	② 穴
1	○マーク	マ ー ク し 無	赤 マ ー ク 無	マ ー ク し 無
2	マ ー ク し 無	○マーク	マ ー ク し 無	赤 マ ー ク 無
3	○マーク	○マーク	赤 マ ー ク 無	赤 マ ー ク 無
4	マ ー ク し 無	マ ー ク し 無	マ ー ク し 無	マ ー ク し 無



第10-22図 リヤ アクスル Y5227 G0358 G0359
組み付け

第10-12表 スナツプ リング種類

品 番	種 類	厚さ (mm)
90521-31038	No. 1	1.40
90521-31039	No. 2	1.45
90521-31040	No. 3	1.50
90521-31041	No. 4	1.55

取り付け

取りはずし作業の逆に行なう。

注 ハブ シャフト ヨーク ナット締め付け。

締め付けトルク 17~19m・kg